

対象(目安)			
幼児	小学校		中学校
幼児	低学年	中学年	高学年 全学年

めだまっち！！



プログラムの概要

いろいろな場所に「目」をつけて、命を吹き込む活動です。
見方を変えると、見えなかったものが見えてきたり、人によって見え方が違ったりする楽しさを味わうことができます。

活動時期



天気



目安の時間

60分



必要な道具

【自然の家でレンタル可】

◇はさみ ◇木片

【持参】

◇シール（いろいろな大きさや色があると楽しい。）

◇プロッキー、マジック

◇両面テープ（目を貼り付ける。）

◇デジカメ（作品を記録する。）

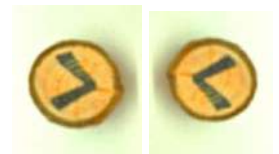
・・・めだまっち！！の楽しみ方・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 子供たちに気付かれないように、あらかじめ指導者は活動場所のどこかに「目」を貼っておく。

(2) 「森の中には、どんな生き物がいるかな？」（クマ、ウサギ…といった答えを聞いた後）「他にもお友達がいるよ。」と言って、(1)の場所に誘導し、紹介する。

(3) 「さあ、みんなも探してみよう！」

- ① 木片を利用して「目」を作る。
※シールを重ねたり、
木片に直接書き込んだりして作る。
紙に書いたものを切り取ってもよい。



- ② 命を吹き込む場所を探そう。
いろいろな方向から自然を観察してみよう。

(4) 自分が見つけた友達を紹介しよう。
何に見えるか、クイズにしても楽しい！



(5) 活動が終わったら、元に戻しましょう。「お友達を森においていかないでね。」

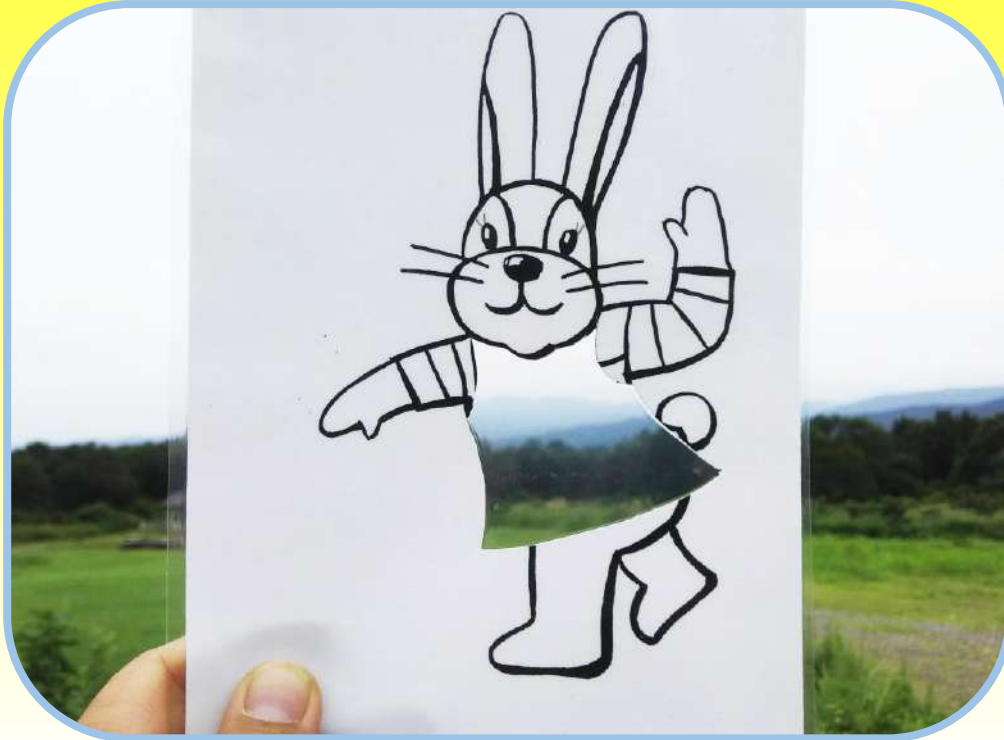


発行日：令和3年4月

発行：独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立妙高青少年自然の家

対象(目安)			
幼児	小学校		中学校
幼児	低学年	中学年	高学年 全学年

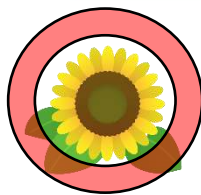
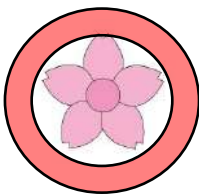
森の芸術写真家になろう



プログラムの概要

身近にある様々な風景や、気になる植物や自然物を切り取って楽しむ活動です。何気なく見ていた風景や自然物も、どこをどう切り取ったかで違った見方や楽しみ方ができます。

活動時期



天気



目安の時間

2 時間



独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立妙高青少年自然の家



必要な道具

【自然の家でレンタル可】

◇はさみ ◇カッター ◇カッターマット

【持参】

◇台紙(画用紙など) ◇筆記用具(マジック)

◇デジカメ(タブレット) ◇プリンター ◇印刷用紙

・・・森の芸術家の楽しみかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

① 台紙をつくりましょう！

画用紙などに下絵を描き、はさみやカッターで切り抜きます。

② 屋外に出かけましょう！

台紙の切り抜いた部分を通して、風景や気になる植物や自然物を切り取って見てみます。

③ みんなと話しましょう！

どんなところに注目したのかを発表しあうことで、様々な視点に気付くことができます。作品として残すならタブレットやデジカメで撮影しましょう。



私だけのキャンプ場
見つけた！



虫くいのあとが目玉に
見えるかな...



発行日：令和3年4月

発行：独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立妙高青少年自然の家

対象(目安)			
幼児	小学校		中学校
幼児	低学年	中学年	高学年 全学年

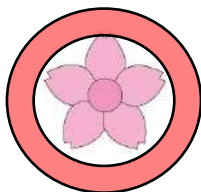
葉っぱじゃんけん～葉っぱで遊ぼう①～



プログラムの概要

葉っぱを使って、じゃんけんをします。
形、大きさ、手触りなど、葉っぱによって特徴に違いがあることに気づくことができます。

活動時期



天気



目安の時間

30分



必要な道具

【自然の家でレンタル可】

【持参】

◇葉を集める袋

・・・葉っぱじゃんけんの楽しみ方・・・

(1) 決められた枚数の葉っぱをとってくる。

*枚数は、発達段階や活動時間により設定。(5枚前後がよい)

*必要以上に多くとってこないようにする。

*とりにいってよい範囲を指定する。

*ウルシなどにとって(触って)はいけない植物を事前に指導する。

事前にウルシのある場所が分かっている場合は本物を見せる。

(2) ペアをつくる。(とってきた葉っぱを見られないように)

(3) 指導者が、葉っぱじゃんけんの勝敗の条件を伝える。とってきた葉で一番条件を満たす物を選び、指導者のかけ声で見せ合う。

(勝敗条件例)「一番大きい葉っぱ!」…大きい方が勝ち

「一番かたい葉っぱ!」…かたい方が勝ち

「一番ギザギザが多い葉っぱ!」…ギザギザの多い方の勝ち

「一番虫に食べられている(穴の開いている)葉っぱ!」

…穴が多い方が勝ち など

(4) ペアを変えて、葉っぱじゃんけんをする。

(5) 葉っぱは、多様な形や大きさ、手触りがあることを確認する。

【応用編】

◇人数が多い場合には、チーム戦にしてチームで葉っぱを集めて勝負する。

◇勝ったら、相手の葉っぱをもらい、次の勝負でも使えるようにすると使う葉っぱのかけひきができます。

◇勝敗の条件を、子供がお互いに1回ずつ条件を出し、同じ相手と2回葉っぱじゃんけんをする。

発行日：令和3年4月

発行：独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立妙高青少年自然の家

対象(目安)				
幼児	小学校			中学校
幼児	低学年	中学年	高学年	全学年

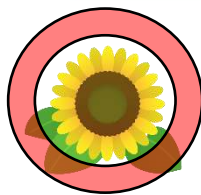
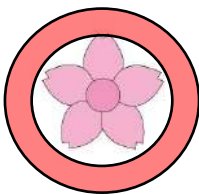
葉っぱカルタ～葉っぱで遊ぼう②～



プログラムの概要

葉っぱでカルタをします。
形や大きさ、色など、葉っぱの特徴に違いがあることに気付くことができます。

活動時期



天気



目安の時間

30分



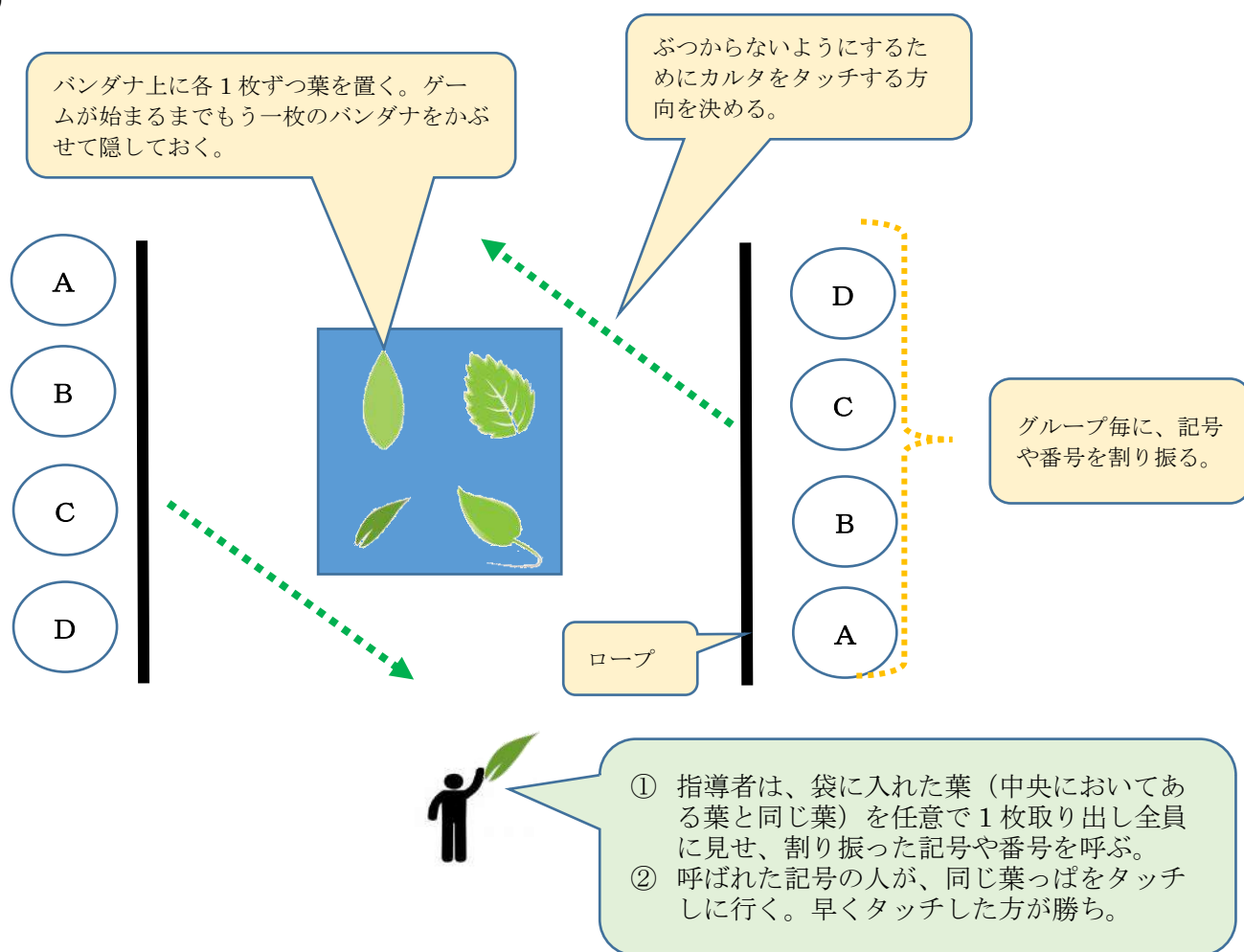
必要な道具

【自然の家でレンタル可】

- ◇葉を集める袋（中が見えないもの）
- ◇バンダナ（風呂敷など）2枚
- ◇ロープ2本

・・・葉っぱカルタの楽しみ方・・・

- (1) 指導者は、事前に森の中から形・大きさの違う葉（2枚ずつ6～10種類程度）を集めておく。
- (2) 子供を2グループに分ける。
- (3)



- (4) 葉の形や大きさについて考える。（正解を求めず、想像することを大切にしましょう。）
（例）「葉っぱが大きい（細長い…）と良いこと（困ること…）はどんなこと？」
視点：日光を浴びるとき… 風が強いとき… 川のそば（水流）で生きるには…
虫に食べられやすいのは…

発行日：令和3年4月

発行：独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立妙高青少年自然の家